

研究課題名	3 テスラ (3T) MRI による頭蓋外脳神経の描出に関する研究
研究機関の名称	自治医科大学放射線科
研究責任者の氏名	藤田晃史
研究対象	自治医科大学附属病院で 2012 年 10 月から 2015 年 12 月 31 日までの間に 3 テスラ MRI で新しい撮像法の 3D-DESS-WE(double echo steady state with water excitation) 法、および 3D-PSIF-DWI(reversed fast imaging with steady-state precession with diffusion weighted imaging) 法を含んだ頭頸部 MRI が撮像された患者さんを対象としています。具体的には唾液腺腫瘍や、顔面神経麻痺や三叉神経神経痛など神経に関連した症状に対して行われた MRI 検査が該当します。
研究意義と方法	<p>今まで頭蓋骨の外で脳神経がどのように走っているかを調べることは困難でしたが、3T MRI という高性能の機械や新しい撮像法の開発によって、これらが可能となりつつあります。脳神経を直接見ることによって、手術の際の神経障害の予防や、今まで分からなかった脳神経症状の原因を明らかにすることが可能と考えられます。</p> <p>本研究では、新しい撮像法によって脳神経(主に三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)が頭蓋骨の外でどのくらい見えるのかについて検討します。また、耳下腺腫瘍の術前検査として撮像された場合については顔面神経と耳下腺腫瘍の位置関係について、画像所見と手術所見の一致率を検討します。診療録からは以下の項目について情報を収集します。</p> <p>(調査項目)</p> <p><u>1. 年齢</u></p> <p><u>2. 性別</u></p> <p><u>3. MRI 所見</u></p> <p>・各脳神経の描出能</p> <p>・耳下腺腫瘍の場合は顔面神経との位置関係</p> <p><u>4. 診断</u></p> <p><u>5. 耳下腺腫瘍で手術された場合には手術所見</u></p> <p><u>6. 治療方法</u></p> <p><u>7. 治療後経過</u></p>
研究期間	許可されてから平成 33 年 12 月 31 日まで
研究に関する情報	患者さんの診療録から上記のような情報を抽出して研究に使用します。解析対象であることを拒否される場合には対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡下さい。但し、連絡をいただいた時点ですでに情報が匿名化されている、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されている場合には、対象から外すことはできませんのでご了承下さい。なお、研究対象とならなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。ご希望の場合には他の研究対象者等の個人情報などの保護及び研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料を閲覧または入手することができます。
個人情報の取り扱い	診療録から得られた情報は、研究責任者が必要な場合に個人を識別できるように対応表を作成して匿名化した上で研究に使用します。情報は研究責任者が放射線科医局においてそれぞれパスワードを設定したファイルで管理し、USB メモリに保存して、鍵のかかるキャビネットに保管します。研究成果は個人を特定できないようにして学会や論文などで発表します。
問い合わせ先及び苦情の窓口	<p>問い合わせ先：自治医科大学放射線医学講座 准教授 藤田晃史</p> <p>0285-58-7362 (放射線科医局直通)</p> <p>苦情申出先：自治医科大学大学事務部研究支援課</p> <p>0285-58-8933</p>